

久慈農業改良普及センターだより



普及センター情報 235号

平成27年4月27日発行

久慈農業改良普及センター

TEL : 0194-53-4989

FAX : 0194-53-5009

○ 新年度を迎えて ～所長あいさつ～ ○

東日本大震災津波から4年が経過し、地域や関係者の方々のたゆまぬ努力で復旧・復興の取り組みが進められており、県では本年度を本格復興邁進年として「なりわい」の再生を一層力強く推し進めることとしております。

さて、新年度よりお世話になっております所長の三田重雄と申します。前任地は北上市にあります県農業研究センター内の中央農業改良普及センターになります。気持ちを新たに活動して参りますので前任の高橋同様よろしくお願いたします。

また、当普及センターでは今回の定期人事異動により、新採用を含む職員6名が加わり、若手からベテランまで16名の職員がそれぞれ新たな気持ちで既に現地活動を展開しております。一年間どうぞよろしくお願いたします。

また今回、普及センターでは平成30年度を目標とした新たな普及計画を4月に策定し、計画の達成に向け農業者、関係機関等と連携しながら取り組みを進めて参ります。以下、重点的に進めていく6つの項目についてお伝えし、職員一同頑張る参ります。



所長 みた しげお 三田 重雄

1 新規就農者の育成

新規就農者の確保定着に取り組めます。

2 水田農業を担う農業法人の育成

宇部川地区営農体制の構築と水稻の低コスト技術の導入及び定着に取り組めます。

3 ほうれんそうビジョンの実現推進

中核農家の規模拡大や、安定生産に向けた技術指導と重点経営体の経営改善指導に取り組めます。

4 大家畜経営の安定

TMRセンター等の生産性向上と和牛繁殖農家の生産性向上に取り組めます。

5 アグリビジネスの推進

産地直売活動の活性化と新規起業者の育成、起業活動の多角化に取り組めます。

6 食文化を活かした地域活性化

食文化伝承と農村の魅力発信に取り組めます。









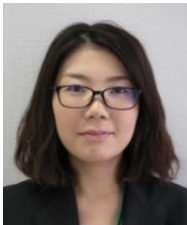







以上が重点的に取り組む項目ですが、私達普及センターの役割は、この地域に暮らす農家の皆さんがこれからも経営として成り立っていくよう“技術”を手段としながら支援していくこと、そして、地域にあった仕組みをつくることだと考えています。

そのためにも農家に信頼され、愛される普及員になれるよう職員ひとりひとり努力して参ります。どうぞよろしくお願いたします。

○ 平成27年度 久慈農業改良普及センター活動体制 ○

今年度は16名体制で、①意欲ある多様な経営体の育成、②産地力強化支援、③農村の活性化支援の3本柱をメインテーマとし、地域課題の解決のためチーム連携により農業者に対する支援を進めて参ります。

【 職員分担 】※(新)：転入、新規採用

<p>マネジメントグループ</p>	 <p>(新) 所長 三田 重雄</p>	 <p>(新) 技術主幹兼普及課長 高橋 昌子 (農村活性化チーム)</p>	 <p>普及課長 本田 純悦 (産地育成チーム)</p>	 <p>普及課長 佐々木 洋一 (担い手育成チーム)</p>	
	<p>チーム長</p>		<p>メンバー</p>		
<p>①農村活性化チーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アグリビジネスの推進 ・食文化を活かした地域活性化 	 <p>(新) 上席農業普及員 佐藤 真澄</p>	 <p>技師 田口 礼人</p>	 <p>技師 山形 久美子</p>		
<p>②産地育成チーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほうれんそうビジョン推進による産地形成 ・大家畜経営の安定 	 <p>主査農業普及員 藤澤 由美子</p>	 <p>(新) 農業普及員 菊池 紘子</p>	 <p>技師 武田 純子</p>	 <p>技師 村上 大樹</p>	 <p>技師 佐藤 聡太</p>
<p>③担い手育成チーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者の育成 ・水田農業を担う農業法人の育成 	 <p>(新) 上席農業普及員 名久井 一樹</p>	 <p>主査農業普及員 吉田 昌史</p>	 <p>主査農業普及員 加藤 清吾</p>	 <p>(新) 技師 半田 翔也</p>	

今回の人事異動により久慈農業改良普及センターから転出した職員は以下のとおりです。

- | | |
|-------|------------------------------|
| 高橋 英明 | 一関農業改良普及センター (一関市) |
| 中村 英明 | 八幡平農業改良普及センター (八幡平市) |
| 櫻田 弘光 | 盛岡農業改良普及センター (盛岡市) |
| 成田 恵美 | 盛岡農業改良普及センター (盛岡市) |
| 佐藤 武博 | 県庁農業振興課 (盛岡市) |
| 洞口 博昭 | 中央農業改良普及センター軽米普及サブセンター (軽米町) |



寒次郎

○ 今年度の転入者（6名）の自己紹介 ○

【①名前 ②出身地 ③担当 ④前任地 ⑤ひとこと】

①三田 重雄（みた しげお）
②花巻市
③所長（マネジメント）
④中央農業改良普及センター
⑤沿岸は宮古農業改良普及センター勤務以来12年振りです。皆さんの智恵や技を経営改善や地域活性化に上手くいかせるよう頑張ります。

①高橋 昌子（たかはし しょうこ）
②花巻市
③技術主幹兼普及課長（総務・農村活性化）
④二戸農業改良普及センター
⑤4年ぶりの久慈勤務です。農家の皆様が意欲的に農業経営に取り組み、そして農村がいきいきとするように、地域の皆さんと一緒に考えていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

①佐藤 真澄（さとう ますみ）
②一関市花泉町
③農村活性化チーム（食文化・起業・6次産業）
④盛岡農業改良普及センター
⑤久慈勤務も単身赴任も初めてなのでドキドキ…です。地域の豊富な資源（人・もの・文化など）を活かし、地域活性化のお役に立てるよう頑張りたいと思います！

①名久井 一樹（なくい かずき）
②盛岡市
③担い手育成チーム（認定農業者、新規就農者）
④農業研究センター（病害虫防除所）
⑤5年ぶりに普及に戻ってきました。沿岸勤務は初めてです。久慈地域は、海も山も農村風景も美しく、心穏やかに仕事ができそうです。どうぞよろしくお願いします。

①菊池 紘子（きくち ひろこ）
②紫波町
③産地育成チーム（ほうれんそう）
④大船渡農業改良普及センター
⑤今回初めての異動で久慈普及センターに参りました。ほうれんそうの担当も初めてとなりますが、皆さんと一緒に収量アップを目指して頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

①半田 翔也（はんだ しょうや）
②紫波町
③担い手育成チーム（青年クラブ、情報発信）
④新規採用
⑤宇都宮の大学を出て、6年ぶりに岩手に帰ってきました。岩手がこんなにも寒かったのかと驚いています。地域のこと、農業のことなど、積極的に学んで行きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○ 農薬の適正使用について ○

1 農薬を使用する前に以下の内容について確認しましょう！

- ・使える作物名・希釈倍率・使用量・使用方法を確認。
- ・注意事項をよく読み、必要に応じた防護装備を装着（保護メガネ、手袋など）。
- ・農薬は適切な場所に保管。

2 農薬を使用したら必ず記帳しましょう。

農薬を使用した場合は、使用した農薬名、月日、作物名、濃度や量などを記帳しておきましょう。記帳することで使用回数や収穫できる日数の確認が可能となり、また使用基準を守っていることの証明になります。



○ 長い間、ありがとうございました ○

岩手県農業農村指導士・青年農業士の認定解除に伴い、知事より感謝状が贈呈されました。

洋野町 下谷地 清(しもやち きよし)さん (農業農村指導士:平成5年度認定)

【経歴】 昭和41年岩手県立浄法寺経営伝習農場を卒業後、就農する。その後海外(アメリカ、カナダ)へ酪農研修。大野村農業機械士連絡会員、大野ホルスタイン改良同志会会長、岩手県ホルスタインクラブ副会長、大野村農業委員、JA陸中農協理事、営農推進員、久慈地方農業共済組合長を歴任。現在は岩手県北部地方農業共済組合副組合長。昭和52年度岩手県青年農業奨励賞受賞、昭和53~59年度岩手県青年農業士、平成3年度豊かなむらづくりコンクールにて帯島地区が農林水産大臣賞、平成5年度は岩手県農業特別功労賞を受賞。

洋野町 高屋敷 幸雄(たかやしき ゆきお)さん (農業農村指導士:平成7年度認定)

【経歴】 昭和43年岩手県立久慈農林水産高等学校卒業後に就農、しいたけ生産を中心に、農業、漁業の複合経営で現在に至る。平成3年、13年、18年全国乾椎茸品評会で農林水産大臣賞受賞。第40回農林水産祭林産部門(平成13年度)内閣総理大臣賞受賞。第24回森喜作賞受賞(平成14年度)。現在洋野町農業委員、洋野町・久慈地方及び岩手県椎茸産業推進協議会会長。平成17年黄綬褒賞受賞。平成24年大日本農会緑白綬有功賞受賞。

久慈市 越戸 俊男(こしど としお)さん (農業農村指導士:平成19年度認定)

【経歴】 学校卒業後大工として県外で働いていたが、昭和58年帰郷してしいたけ栽培を開始。平成12年原木しいたけから菌床しいたけに切り替えた。平成14年久慈地方農業農村活性化推進協議会会長賞受賞。平成15年(有)越戸きのこ園を設立。平成15年JA菌床しいたけ園芸部会長就任。平成15年久慈地方農業農村活性化推進協議会会長特別賞受賞。平成19年岩手農林水産表彰(産地づくり)受賞。平成20年「侍の湯 きのこ屋」営業開始。平成25年日本農業賞特別賞受賞。

洋野町 西 君治(にし きみはる)さん (青年農業士:平成18年度認定)

【経歴】 県立大野高等学校卒業後、就農。岩手県立大野高等学校評議員、岩手県青少年育成委員、洋野町行政改革推進懇談委員を歴任。平成18~24年久慈地方農村青年クラブ連絡協議会会長。平成18年から洋野町農業青年クラブ会長。平成16年久慈地方青年農業賞受賞。



感謝状贈呈式には、高屋敷幸雄さんが出席されました。

春の農作業安全月間

<平成27年度スローガン>

無理するな 疲れたときに **NO!** 作業

○家庭での安全管理の徹底

事故防止には、日常の『声かけ』が大切です。皆で事故に気をつけていくために、家族や近所の人にも「怪我しないように気をつけて」と声を掛け合っていきましょう。また、いざ巻き込まれた時のために、家族など周りの人にエンジンの止め方を教えておくことも大切です。

○作業環境の整備の徹底

トラクターや管理機での作業は、ほ場のまわりの段差やぬかるみ、周りに人がいないかなどを確認してから行いましょう。トラクターの運転に慣れている人でも作業中に転落して事故を起こしています。初心を忘れずに日頃から転落や巻き込まれに注意していきましょう。

○農業機械の始業前点検

作業を行う前に農業機械の点検は行いましたか? 整備不良の機械での作業はとても危険です。定期的に点検することを習慣づけましょう。また、事故防止のための安全フレームの装着も検討しましょう。

○反射材等の装着

暖かくなってくると、暗くなるまで作業することも多くなってくると思います。反射材などをつけて自分の場所を知らせることで、道路での接触・追突などの危険を減らしましょう。

県内の農作業死亡事故

農業機械を運転中の事故	4 件
農作業中の転落・滑落による事故	3 件
野焼き中の事故	2 件
死亡事故合計	9 件

昨年度の県内で発生した農作業中の死亡事故は9件でした。

毎年多い農業機械運転中の事故に加え、昨年は足場の悪い場所での作業（鉄骨ハウスのビニール展張時、カントリーエレベータの内部確認など）の事故が2件発生しました。

足場の悪い場所で作業する際には、雨の日の作業は避け、滑りにくい靴で行うと共にできるだけ2人以上で行うようにしましょう。



春は乾燥しやすく、山火事が多い時期です。

山火事にも注意!!

